

苗代桜

苗代桜の木は、下呂の町の中心部から南西に車で約 25 分の和佐地区にある、2 本の巨木です。木の高さはそれぞれ 30 メートルと 25 メートル、直径は 4 メートルと 3 メートルあります。樹齢は約 400 年と推定されています。花を咲かせる春の夜には 2 本の木がライトアップされ、水が張られた水田に映るその姿が特別な夜を作り出します。

この木の名前は、その姿を映し出す水田が、稲の苗を育てる苗代として使われていることにちなんでいます。その花の開花が、地元の農民たちに生育期の準備をするタイミングを知らせたのです。その短い花の時期の終わりには、2 本の木の花びらが苗代の上に落ち、美しい景色を作ります。その伝統的な役割から「暦桜」という名前でも知られる苗代桜の木は、数軒の家屋が建ち、泡立つ小川の流れる、静かな地区にあります。